

「平成18年の市の公共交通に対する基本的な考え方」の取組のまとめについて（概要）

1 背景と理由

- ・平成18年にまとめた「市の公共交通に対する基本的な考え方」（以下「基本的な考え方」という。）に基づき、生活交通の充実を図るため、コミュニティバスの運行見直しや市内を4つの地域に分けたコミュニティタクシーの運行に向けて、地域との協働により取り組みを進めてきた。
- ・コミュニティバス及び3つの地域のコミュニティタクシーについては、順調に運行を継続しているが、最後の南西部地域では、実証実験運行を実施したものの、利用実績等から継続的な運行に移行することができなかった。
- ・平成18年から15年以上経過し、社会状況や公共交通を取り巻く環境が大きく変化していることから、今後、基本的な考え方の見直しが必要であり、その見直しに向けて、これまでの取組を総括として取りまとめ、「市の公共交通に対する基本的な考え方の取組のまとめ（報告書）」を作成した。

2 市の公共交通に対する基本的な考え方

【基本方針】

- ①「にじバス」の試行運行は平成19年3月で終了し、平成19年4月から新たな試行運行を開始する。
- ②地域ごとのニーズに基づくコンパクトな地域内の生活交通とこれをつなぐ幹線交通を充実する。

【具体的な取組】

- ①にじバスの新たな試行運行の開始
- ②4つの地域においてコミュニティタクシーの導入に向け地域と協働で検討
- ③青梅街道幹線軸の充実

3 今後の予定

令和4年3月下旬 にじバス協議会、コミュニティタクシーを考える会へ報告書の送付
報告書の公表（市ホームページ掲載）